

滋賀からカナダへ

この地にのこる移民の歴史展2



タシメ収容所 幼稚園卒業式 1944年5月（日系会館 所蔵）

移民の歴史展の第2回となる今回は、特に第二次世界大戦中の日系カナダ人強制収容の歴史と戦後補償（リドレス）運動に焦点を当てます。滋賀県内の各地域に残る移民ゆかりの資料や記録を掘り起こし、前回のパネル展示と組み合わせながら「地域に根づく移民の歴史」として展示いたします。



収容所で使っていたランプ



子ども用ゴルフクラブ



当時のトランク

令和8年
1月19日(月)～2月6日(金)
10:00～16:00 (2月6日は12:00まで)

ギャラリートーク開催！ 滋賀・カナダ移民研究会による展示の説明を行います。

1月20日（火）・30日（金）午後1時～2時

休館日：土・日（臨時休館をする場合があります）

会場：滋賀大学彦根キャンパス
総合研究棟＜士魂商才館＞1階

滋賀県は、明治より多くの人々がカナダに渡り、日本人のなかで最も多くの人が在住していたと言われています。しかし、戦争中の強制収容、戦後の日系人分散政策、人種同化の進行などにより、滋賀とカナダの地域関係は途絶え、現在では移民のことを知る人はほとんどいません。

それに伴い、各家庭に眠る移民の資料や持ち物が無自覚に失われています。このような資料は、滋賀ならではのかけがえのない遺産であり、早急な保存と継承が必要となっています。

そのための第一歩として「滋賀からカナダへ—この地にのこる移民の歴史展」を開催します。ここに展示されるものは、各家庭で保管されてきたもので、カナダ移民の歴史が次世代に継承されることを願ってご協力いただいたものです。

この展示会では、貴重な資料の保存・継承を呼び掛けていますが、その先に一度断絶した日系カナダ人と出身地である滋賀が再び交流する未来も展望しています。

同時開催

カナダ移民講演会（定員：100名）

日時 令和8年1月20日（火）14:30~16:00

場所 滋賀大学彦根キャンパス総合研究棟〈土魂商才館〉3Fセミナー室I

テーマ 「第二次世界大戦直後に日本に『送還』された日系カナダ人のその後」

講演者 飯野正子さん（津田塾大学名誉教授）

高村宏子さん（東洋学園大学・元教授）

原口邦紘さん（外務省外交史料館・元副館長）

木野淳子さん（東京外国语大学兼任講師）

お申込みはこちら

右のQRコード®から
フォームをご入力ください。

締切：令和8年1月19日(月)



お問合せ

滋賀大学地域連携教育推進センター

電話 0749-27-1348

fukugan@biwako.shiga-u.ac.jp

滋賀大学彦根キャンパス

〒522-8522 彦根市馬場1丁目1番1号

交通アクセス

・JR彦根駅より滋賀大学直行バスで約10分

・タクシーで約5分、徒歩で約25分

・JR米原駅よりタクシーで約15分

※構内に駐車場はありませんので、近隣の有料駐車場をご利用ください。京橋口駐車場が徒歩10分程のところにございます。

滋賀大学彦根キャンパスまでの
交通アクセスについて、詳しくは
右のQRコード®から確認できます。



↑ レモンクリーク収容所（日系会館所蔵） タシメ収容所にて
(高橋コレクション所蔵) リリーと赤ん坊→